

今が大切

校長 小林 正樹



今年は9月になっても残暑が続きました。地域・保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動にご理解、ご協力を賜わり、深く感謝申し上げます。生徒会活動や部活動などは、3年生から2年生、1年生へと引き継がれ、9月28日からは陸上競技を皮切りにさいたま市中学校新人体育大会が始まっています。これからも、生徒のすばらしい活躍と成長を期待してください。

さて、9月21日(木)、さいたま市文化センター大ホールを会場に、合唱コンクールが開催されました。平日開催でしたが、多く保護者の皆様にご来場いただき、参加率は83%でした。ありがとうございました。今年の「歌声が響く週間」の練習では、クラスによっては発熱等により、仲間が揃っての練習など苦慮する日もありました。しかし、歌声は日が経つにつれ、校長室まで聞こえるすばらしい歌声となり、私も自然に音楽室まで出向き、生徒たちを褒めたり、励ましたりさせてもらいました。その時の生徒の目の輝きをみて、今年は一段とすばらしい合唱コンクールになると確信しました。全校生徒が合唱に全力で取り組み、聴きごたえのある感動的な合唱コンクールとなりました。当日は、開会式での校歌の全体合唱は、3年生を中心に美しく大きな声量で力強いものでした。続いて各学年の発表を聴き、1年生も2年生も3年生も確実に成長していると感じました。特に3年生はどのクラスもレベルが高く、練習の成果が存分に発揮され完成度の高い歌声となりました。さすが3年生でした。審査席にいた私も自然に目頭が熱くなる感動いっぱいのコンクールとなりました。本番にこれだけ力を発揮できたということは、進路の選択にも必ずつながると頼もしく思いました。3年生には、互いに「声を掛け合い、励まし合い、認め合ってきた」経験を忘れてほしくありません。隣で悩んでいる友達、試験に不安になっている仲間に「一緒に頑張ろう」と声をかけられる、そんな大谷口中生であってほしいと思います。皆さんが自分も他の人も大切にできる美しくたくましい人になってくれることを切に願っています。それからすばらしかったのは、実行委員会の生徒たちの準備や進行などでした。裏方としての活動があったからこそ成功した合唱コンクールとも言えると思います。実行委員会の皆さんありがとうございました。

話は変わりますが、私は3年生を担当すると2学期に、必ず前の黒板の掲示枠に貼る好きな言葉がありました。それは「今が大切」という言葉です。勉強でも、部活動でも、行事でも、遊びでも、まず、自分の今やるべきことに集中して、今の時間を大切にすることだと私なりに解釈しています。人生でも仕事でも、その時その時の「今」の積み重ねの結果でしかありません。今を大切にしなければ、明るい未来は開きようがありません。勉強でも、人との付き合いでも、今を大切にすることによって、充実した人生が築かれると考えます。特に3年生は「やるべきことは何か、やるべき時はいつか、やるべき量はどれだけか」を見出し、一人ひとりが進路の自己実現に向かって全力で頑張してほしいと願っています。生徒の皆さん、「今が大切」の気持ちをもって、10月以降も頑張りましょう。

最後になりますが、ご家庭におかれましては、引き続き、手洗いの徹底等、感染症予防の取組をよろしくお願いいたします。